

日本伝統文化学科 翠樟祭企画 シンポジウム

『源氏物語はどう読まれてきたか』²



昨年実施された「源氏物語はどう読まれてきたか」に続く、東京成徳大学日本伝統文化学科所属の教員によるシンポジウムです。それぞれの得意分野から『源氏物語』の意義について考えてみたいと思います。

日時 10月25日(日) 13時00分～14時30分

会場 東京成徳大学 情報棟1F AVホール

(司会 増尾伸一郎)

増尾伸一郎教授

「『モノケとモノサトシ』

小林朋恵教授

「『源氏物語』の衣装、『紫式部日記』の衣装」

青柳隆志教授

「『源氏物語』と『無名草子』

庄司達也准教授

「『源氏物語』と近代文学」

ご来聴を歓迎いたします。

